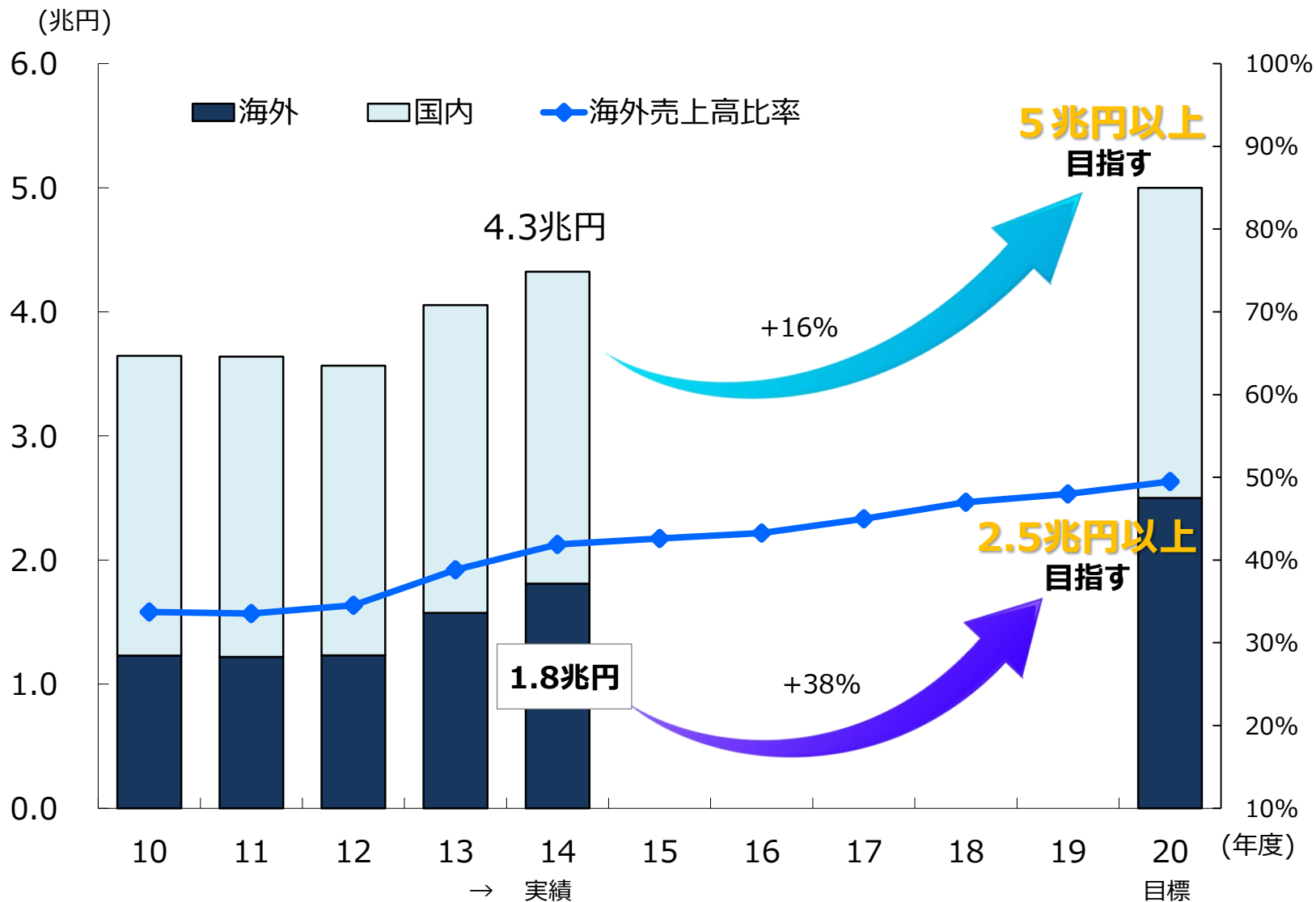


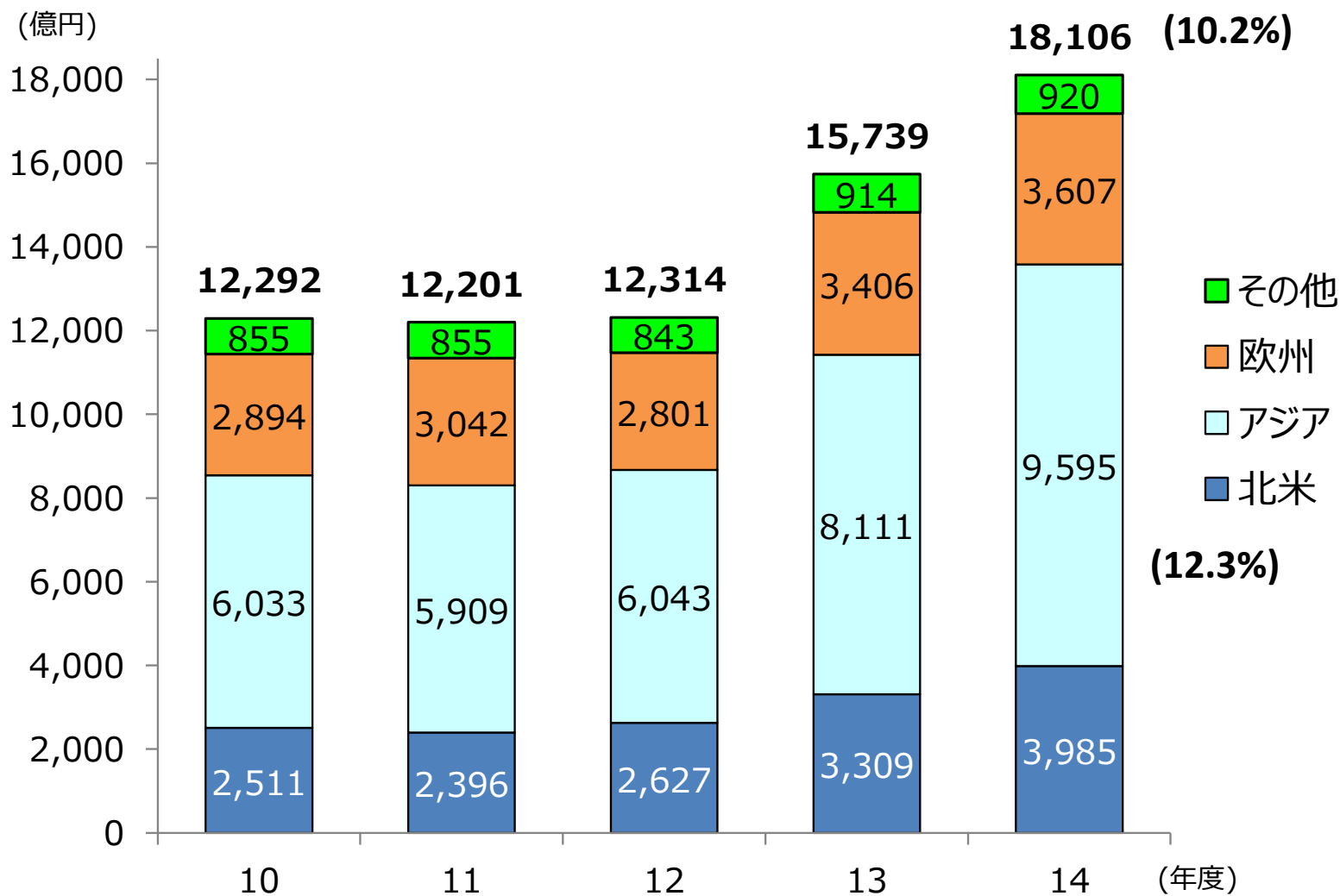
企業としてのTPP活用戦略

2016年2月22日
三菱電機株式会社



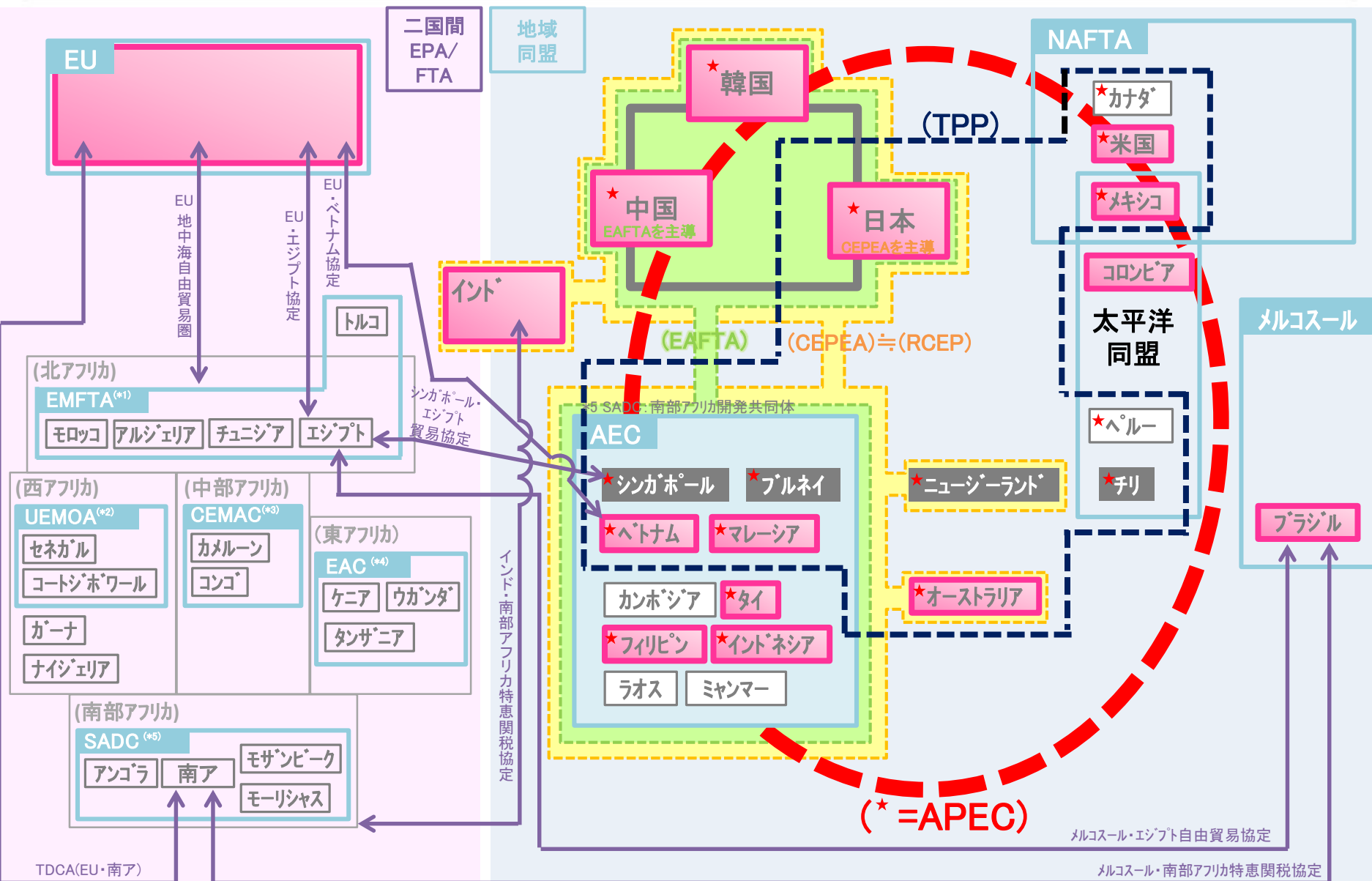
三菱電機全社 海外売上高 (地域別)

()=年平均成長率 (CAGR)



TPP/FTAの流れ (三菱電機の視点)

■ : 当社の製造拠点がある国



*1 EMFTA: EU地中海自由貿易圏、*2 UEMOA: 西アフリカ経済通貨同盟、*3 CEMAC: 中部アフリカ経済通貨共同体、*4 EAC: 東アフリカ共同体、*5 SADC: 南部アフリカ開発共同体
 *6 EAFTA: 東アジア自由貿易協定、*7 CEPEA: 東アジア包括的経済連携協定
 ----- : 協定未締結
 ©2015 Mitsubishi Electric Corporation 3

TPPにおける規定

事業インパクト

複数の参加国内に跨って製造した製品について其々の原産性が足し算的に認められる『**累積原産地規則**』が適用

サプライチェーンの
自由度拡大

生産プロセスを海外に移転せずとも、SCM最適化を図ることが可能

物流を含むサービス提供に対する外国企業への差別的規制(外資規制等)が緩和される

サービス貿易の
障壁緩和

新興国への新規参入がしやすくなり、参入機会が拡大される

通関当局は、貨物の到着から48時間以内に引取を許可。
急送便の場合は、税関書類の提出後6時間以内の引取を許可。

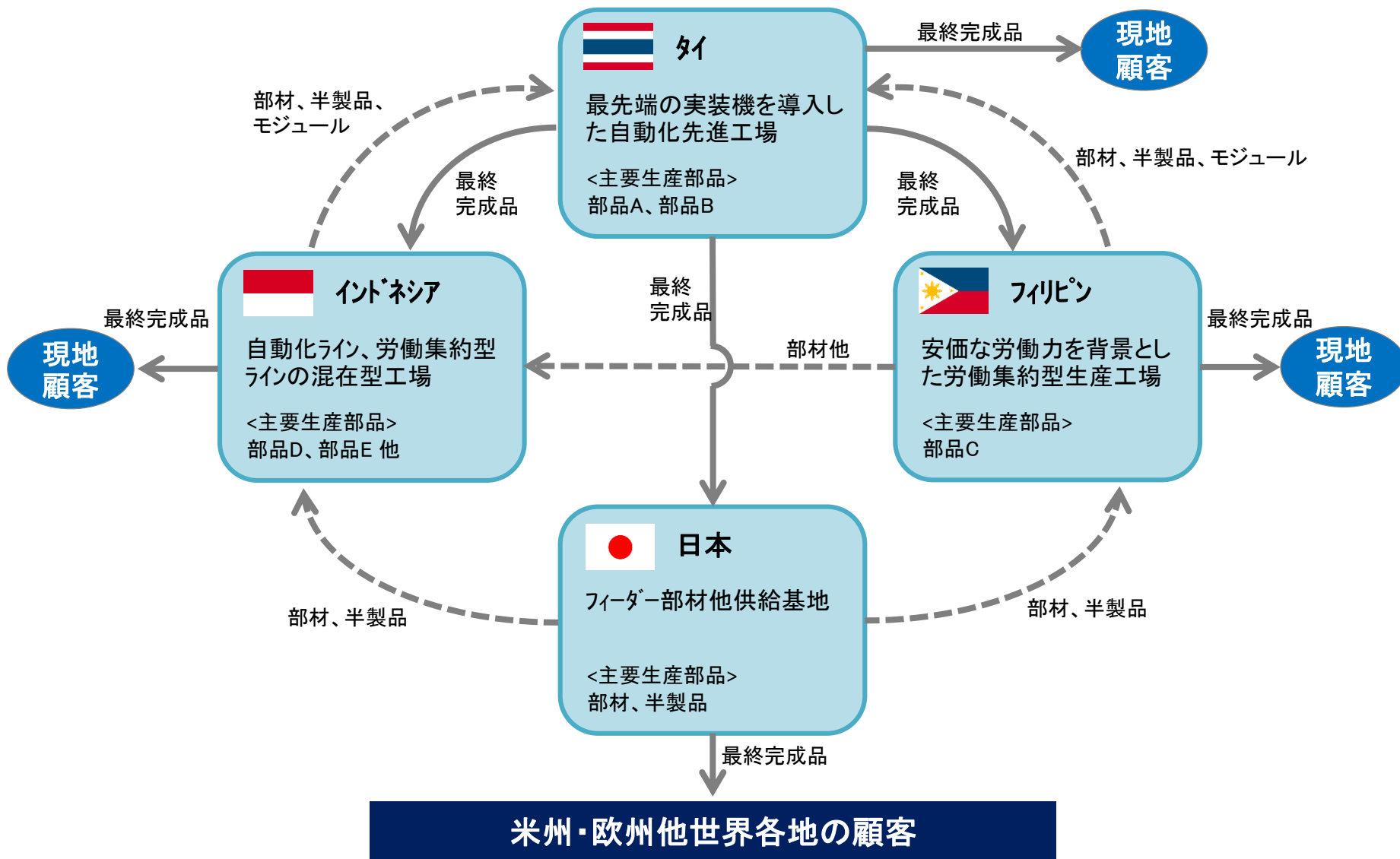
通関手続きの
迅速化

輸入・通関手続きが迅速化され、時間短縮に繋がる

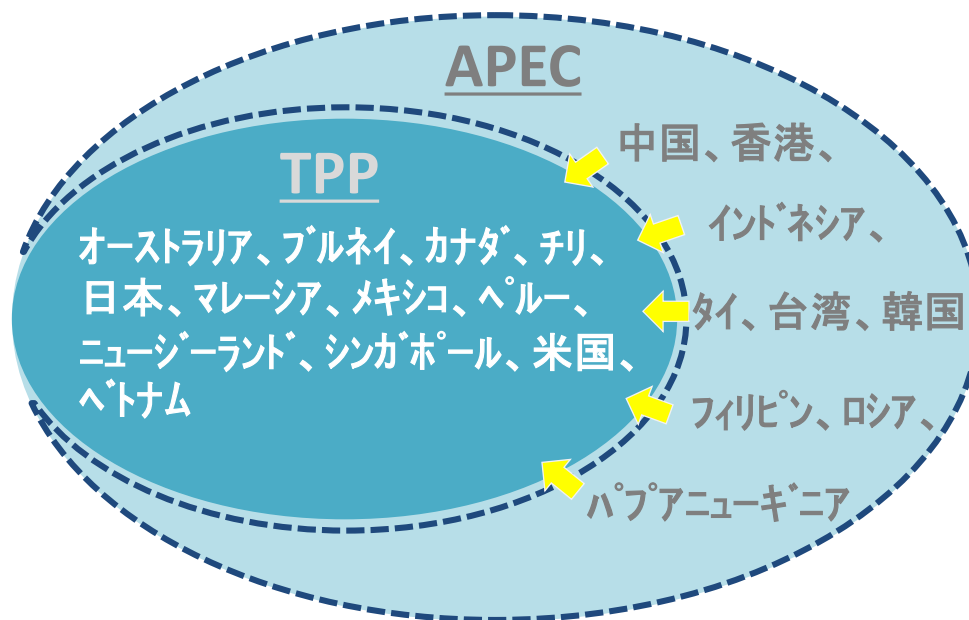
■ 域内分業化の流れ

[例: 当社〇〇事業本部生産分業体制]

【凡例】 ← 最終完成品の流れ
← 部材、半製品・モジュールの流れ



APEC加入国でTPP未加入の国がTPPに加入すると・・・



現在進めている地産地消戦略の選択肢が増える



本邦のマザー工場がより一層生きる